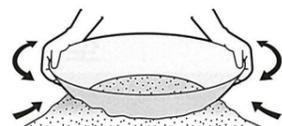


使用方法

1 土・コンクリートの平地に置いて下さい

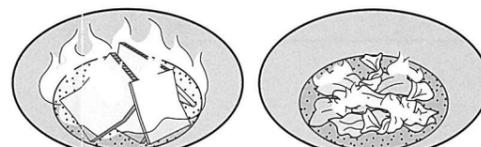
※アスファルトは燃えますので使用禁止
炭化器下部に隙間があると空気が入り良く燃えますが灰に成り易いので隙間を無くして下さい



- (A) 回転させ土に密着させます
- (B) コンクリートでは土を寄せて隙間を無くします

2 床面全体に焚付けを燃やして沢山の火種を作ります

- (C) 火種が少ないと煙ります
- (D) 焚付けは枯枝・段ボールで火力を強く
- (E) 紙くず・新聞紙は火力が弱くてダメです



焚付けは段ボール等を
紙くずはダメ

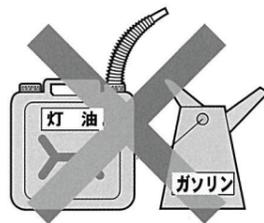
3 必ず火柱燃焼させて、次から次といっぱいに成る迄燃やします

炭化時間がとても早い

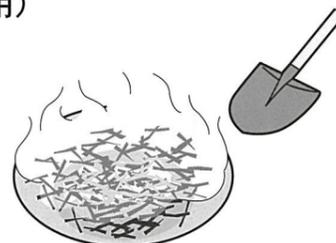
【煙る理由】
(F) 生又は濡れた物
(G) 沢山のせた



【禁止事項】
(H) 引火性の有る灯油・ガソリン等は火傷や火災の危険があるので絶対使わないで下さい



4 最後におき火の中をスコップで掻回すと燃え残りが無くなります(軍手着用)

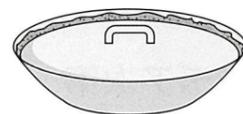


5 消し方は、炎が無くなったおき火を消します(軍手着用)

(I) 水を全体にかけスコップで掻回すと少ない水で消火出来ます



(K) 蓋をしたら回りに土をかぶせ軽く叩いて下さい



(J) 土を全体にかけてスコップ等でたたいて気密にし下部に土寄せして隙間を無くして下さい



6 時々消火を確認し完全に消火して下さい

7 収納は炭が冷たくなってから行って下さい

※暖かい炭は再着火して火災の危険があります

使い方はあなたのアイデア次第

- バーベキューに
◎抜群のおいしさ
◎炭は自給自足
- 魚の串焼きに
- いろいろに
◎乾いた薪
◎木炭
- 祭りの景気付けに
◎細竹にて
◎竹炭も同時に
- 炭化工艺品作り
ドラム缶は煙るだけでほかほかしない
- キャンプファイヤーに
◎安全で楽しく
- 現場暖房に
◎無煙で全身ほかほか

特長

- 身近な乾いた植物が炭になります
- 横風があっても飛び火しません
- 対流燃焼・熱伝導・放射熱効率が抜群です
- 炭の用途は無限大 低コストで大量生産が可能
- 全く新しい農機具で農家の必需品です
- 燃焼時間が早く 灰に成りません

対象物

- 病害虫作物
- 植物残さ
- 剪定枝・松くい虫
- 土手草・雑草・芝生



用途

農林畜産用 ゴルフ場	土壤改良材	多孔質	緑化 成長促進 環境浄化	燃料	バーベキュー用・こたつ用
	飼料添加材			水質浄化	雑排水処理 河川浄化処理
	消臭材			住宅環境	床下敷設 断熱資材
	ろ過材			水産資源用	養殖用 魚礁用
	消雪材			保水性 排水性 通気性 蓄熱性 吸着性 アルカリ性	

仕様

ステンレス製

型式	M50 家庭用	M100 農家用	M150 竹林用
寸法	56.5×21cm	98×34cm	148×45cm
生成量	35kg/回	150kg/回	450kg/回
重量	1.8kg	8kg	23kg

※仕様 デザインは改良の為に変更する事があります